

表紙の写真
日本製紙株式会社 菅沼社有林（群馬県）

本報告書で使用した用紙
〔表紙〕 ユーライト 157.0g/㎡（日本製紙株式会社）
〔本文〕 b7トラネクスト 100.0g/㎡（日本製紙株式会社）



日本製紙株式会社 （証券コード 3863）

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台4-6（御茶ノ水ソラシティ）

問い合わせ先
経営企画部 TEL. 03-6665-1002
サステナビリティ経営推進部 TEL. 03-6665-1015

ウェブサイト
<https://www.nipponpapergroup.com/>



日本製紙グループ 統合報告書2024
2024年3月期

世界の人々の 豊かな暮らしと 文化の発展に 貢献します

強く願い、行動しなければ何も変わらない。
皆さまの暮らしと文化の発展に貢献し
“永続的に必要とされる存在になる”
という使命を胸に、私たちは進んでいます。



Mission／理念 〈社会の中での存在理由・意義〉

日本製紙グループは
世界の人々の豊かな暮らしと
文化の発展に貢献します

Vision／目指す企業像 〈理念実現のために目標として目指す姿〉

以下の要件を満たす、社会から持続的に必要とされる企業グループ

1. 事業活動を通じて持続可能な社会の構築に寄与する
2. お客様のニーズに的確に応える
3. 社員が誇りを持って明るく仕事に取り組む
4. 安定して利益を生み出し社会に還元する

Value／重視する価値 〈理念実現のために社員が重視する価値、判断基準〉

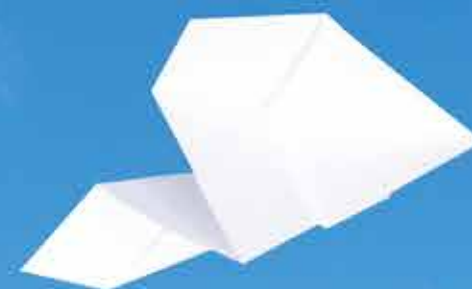
Challenge
Fairness
Teamwork

Slogan／スローガン 〈事業環境を織り込んだ当面の方針〉

木とともに
未来を拓く

～日本製紙グループ～

木とともに未来を拓く総合バイオマス企業として、
これまでにない新たな価値を創造し続け、
真に豊かな暮らしと文化の発展に貢献します。



日本製紙グループ統合報告書2024のポイント／編集方針

日本製紙グループは、株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆さまに対し、価値創造に向けた取り組みをお伝えし、当社グループの持続的成長や企業価値向上について理解を深めていただくことを目的とした対話のツールとして、統合報告書を作成しています。

「日本製紙グループ統合報告書2024」では、当社グループの長年にわたる事業活動で蓄積された経営資源を源泉として、各資本の強化が企業の成長と社会課題の解決にどのようにつながるのか、その独自性や具体的な取り組みに重点を置き

つ、価値創造を支える基盤とともにご紹介する内容となっています。

当社グループは創業以来、一貫して木から得られる資源を活用し、日本の紙の歴史とともに豊かな文化の創造に貢献してきました。事業環境が激しく変化する中、当社グループも大きく変革し、蓄積した経営資源を活かして新たな価値を創造するフェーズに立っています。「木とともに未来を拓く総合バイオマス企業」として、未来においてどのような姿を目指しているのか、その道筋を、本報告書を通じてお伝えしたいと考えています。

総合バイオマス企業とは

安定した利益を生み出す複数の事業で構成され、再生可能な木質資源を多様な技術・ノウハウによって最大活用し、循環型社会の形成に貢献する製品を幅広く提供することで利益の拡大につなげ、豊かな暮らしと文化の発展を実現する企業グループ



写真：日本製紙株式会社 北山社有林(静岡県)

見通しに関する注意事項

本報告書に記載されている日本製紙株式会社および日本製紙グループ各社の計画、予想、戦略、確信に関する記述は、過去の事実を除き、日本製紙株式会社および日本製紙グループ各社の経営者が現在入手可能な情報に基づいて判断した将来の業績に関する見通しです。したがって、これらの業績見通しに全面的に依拠して投資判断されることは控えるようお願いいたします。実際の業績はさまざまな要因の変化により、これらの業績見通しとは大きく異なる場合があることをご承知ください。

報告の対象期間

2023年度：2023年4月1日-2024年3月31日
一部に2023年4月1日より前、または2024年4月以降の情報を含めています。対象箇所では日付を明記しています。

報告の対象組織

本報告書は日本製紙株式会社を報告主体としています。ただし、取扱データは2024年3月末時点の当社および全連結子会社54社を報告対象として算出しています。

参考ガイドライン

- ・環境省「環境報告ガイドライン」(2018年版)
- ・GRIスタンダード
- ・国連グローバル・コンパクト
- ・SASBスタンダード
- ・ISO26000 ほか

ガイドラインとの対照表

<https://www.nipponpapergroup.com/csr/gri/>



CONTENTS

6 日本製紙グループ統合報告書2024のポイント／編集方針

社長メッセージ

グループ理念の実現に向けて～持続的な価値創造

14 日本製紙グループの価値創造プロセス
16 3つの循環が生み出す価値
18 重要な経営資源
19 財務資本～財務担当役員メッセージ
24 自然資本
32 人的資本
36 知的資本
40 製造資本
42 社会・関係資本
44 企業グループ理念の実現に向けた重要課題（マテリアリティ）

持続的な価値創造の基盤

48 日本製紙グループの歩み
50 取締役および監査役
52 コーポレートガバナンス
56 コンプライアンス
57 社外取締役メッセージ
60 リスクマネジメント
61 製品安全
62 人権の尊重
64 調達

事業ポートフォリオと戦略

65 At a Glance
66 中期経営計画2025の進捗と達成
68 事業別戦略
68 紙事業／板紙事業
69 液体用紙容器事業／Opal社
70 家庭紙・ヘルスケア事業／ケミカル事業
71 エネルギー事業／木材・建材事業

データセクション

72 11カ年財務サマリー
74 11カ年ESGデータ／事業別3カ年データ
76 会社情報／投資家情報